◎加算希望変更の判断例

1		2		3		4		(5)
令和7年度 主観点希望の状況		R8.1.31現在有効な経審結果総合評 定値 (P) のみで令和8年度等級区 分はどうなりますか		②のP点に①の主観点を加えると 令和8年度等級区分はどうなりますか		令和8年度 等級区分の希望		変更届提出の有無
希望あり 例 地元点 100点	⇒	例 令和7年度等級 土木一式工事「D」 D→「 C 」 (令和7年度からアップ)		例 P点810+地元点100=910 ②からさらにアップ C→「 B 」	⇒	②の等級にしたい 「C」 ③の等級でよい 「B」	⇒	「 有 」 「 希望しない 」に変更要 「無」 (加算希望ありのまま)
			⇒	例 P点760+地元点100=860 ②と変わらない C→「C」	⇒	③の等級でよい 「 C 」 令和7年度の等級で	⇒	「無」 (加算希望ありのまま) 「C」になる
		例 令和7年度等級 建築一式工事 「B」 B→「 C 」 (令和7年度からダウン)	⇒	例 P点750+地元点100=850 ②からアップ C→「B」	⇒	よい「D」 ②の等級にしたい 「C」 ③の等級でよい	⇒	(「D」になれない) 「 有 」 「 希望しない 」に変更要 「無」
				(令和7年度と同じになる) 例 P点735+地元点100=835	⇒	ГВЈ	⇒	(加算希望ありのまま)
				②と変わらない C→「 C 」	⇒	②の等級になる 「 C 」	\Rightarrow	「無」 (加算希望ありのまま)
		例 令和7年度等級 舗装工事「C」	[C] ⇒	例 P点690+地元点100=790 ②からアップ	⇒	②の等級にしたい 「 C 」 ③の等級でよい	⇒	「有」 「希望しない」に変更要 「無」
		「 C 」 (令和7年度と異動なし)		C→「B」 例 P点650+地元点100=750 ②と変わらない C→「C」	⇒	「B」 ②の等級になる 「C」	⇒	(加算希望ありのまま) 「無」 (加算希望ありのまま)
1		2		3		4		(5)
令和7年度 主観点希望の状況		R8.1.31現在有効な経審結果総合評 定値 (P) のみで令和8年度等級区 分はどうなりますか		② のP点に<u>希望する主観点を加える</u>と 令和8年度等級区分はどうなりますか		令和8年度 等級区分の希望		変更届提出の有無
希望なし	⇒	例 令和7年度等級 舗装工事「C」 C→「 B 」 (令和7年度からアップ)	例 P点810+地元点100=910 ②からさらにアップ B→「 A 」	⇒	③の等級にしたい 「A」 ②の等級でよい	⇒	「有」 「希望する」に変更要 「無」	
			⇒	例 P点790+地元点100=890 ②と変わらない	⇒	「B」 ③の等級でよい 「B」 令和7年度の等級で	⇒	(加算希望なしのまま) 「無」 (加算希望なしのまま) 「B になる
		例 令和7年度等級		B→「 B 」 例 P点1060+地元点100=1160	⇒	よい「C」 ③の等級にしたい	⇒	- (「C」になれない) 「 有 」
		建築一式工事「A」 A→「 B 」 (令和7年度からダウン)	⇒	②からアップ B→「 A 」 (令和7年度と同じになる)	⇒	「A」 ②の等級でよい 「B」	\Rightarrow	「 希望する 」に変更要 「無」 (加算希望なしのまま)
				例 P点1010+地元点100=1110 ②と変わらない B→「 B 」	⇒	②の等級になる 「 B 」	\Rightarrow	「無」 (加算希望なしのまま)
		例 令和7年度等級 土木一式「B」		例 P点1030+地元点100=1130 ②からアップ B→「A」	⇒	③の等級にしたい 「A」 ②の等級でよい	⇒	「 有 」 「希望する」に変更要 「無」
		「B」 (令和7年度と異動なし)	⇒	例 P点1030+地元点100=1130 ②と変わらない 「B」	⇒	「B」 ②の等級になる 「B」	⇒	(加算希望なしのまま) 「無」 (加算希望なしのまま)

※上記の表はあくまで例示であって、工事種別や採用するP点、希望する主観点の点数によっては、変更届を提出されても令和8年度の等級区分が希望どおりにならない場合もあります。

※主観点加算を希望された場合、加算対象になる全ての工事種別に加算されます。各工事種別ごとに加算希望の有無を選択することはできませんので各工事の工事種別ごとに等級区分評点を計算したうえで、主観点加算希望の有無を判断し、必要に応じて変更届を提出してください。

※実際に令和8年度等級区分表を見ていただき、等級区分評点を計算したうえで、主観点加算希望の有無を判断してください。